

Yoneyama Harmony ～新しい未来への調和～



国際ロータリー第 2660 地区

YONEYAMA SCHOLARSHIP ALUMNI ASSOCIATION KANSAI

米山奨学生学友会（関西）

Vol. **39**

2022-23 年度役員



会長
頼 育萱
台湾
やまと西和 RC
(旧王寺 RC)
2006.4-2007.3



副会長
呉 偉偉
中国
青森東 RC
2010.4-2011.9



幹事長
單 雅婷
台湾
四條畷 RC
2012.4-2013.3



会計
鄭 詩穎
台湾
池田くれは RC
2018.4-2020.3



IT 専任・顧問
Ariff Zaini
マレーシア
大阪城東 RC
2013.4-2015.3



地区学友会専任
関 スラ
韓国
大阪うつぼ RC
2013.4-2014.3



顧問
何 玉翠
台湾
奈良 RC
1987.4-1989.3



会計監査
李 麗俞
台湾
奈良 RC
1984.4-1986.3



広報専任
鍾 允順
台湾
池田くれは RC
2014.4-2015.3



役員
王 浩悦
中国
京都洛南 RC
2016.4-2017.3



役員
梅 星
中国
大阪城東 RC
2019.4-2020.3



役員
VO NU TRUONG GIANG
ベトナム
摂津 RC
2019.4-2021.3



役員
趙 航
中国
宮崎北 RC
2019.4-2021.3



役員オブザーバー
王 梓
中国
大阪西南 RC
2021.4-2022.3



役員オブザーバー
李 玥璇
中国
守口イブニング RC
2021.4-2022.3



役員オブザーバー
BUI, CUONG THINH
ベトナム
池田 RC
2021.4-2022.9



役員オブザーバー
SHRESTHA, SUMAN
ネパール
大阪西北 RC
2020.4-2022.3

米山学友会の豆知識

Did you know? About Yoneyama Scholarship Alumni Association



学友会とは？

本会は、元・現米山奨学生間の交流を通じて、親睦および互助を促進すると共に、国際親善・世界の平和に寄与することを目的とする非営利組織です。

関西学友会の会員になる方法

関西に在住の元米山奨学生（OB.OG）現役奨学生の方々は全員が本会の正会員、準会員とする。関西近辺にいる学友の皆さま、是非一緒に本会の活動にご協力、ご参加をお願い致します。

会費は必要ですか？

年会費は2012年度より廃止されました。
※但し、活動参加費のみ徴収しております。

学友の活動とは？

異文化理解から語学力発揮、ボランティア活動から地道なお手伝いまで、学友たちが力になれるところで、今までの恩に感謝する気持ちを込めて貢献しております。

イベントなどの最新情報を提供

本会は、ホームページやFacebook等による運営を行なっております。また、メーリングリストによる一斉送信も行なっております。皆様のご登録、心からお待ちしております。

Website: <http://kansaiyoneyama.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/yoneyama2660>

Email: yoneyama2660@gmail.com

CONTENTS

国際ロータリー第 2660 地 2022-23 年度 ガバナー ご挨拶	2
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長 ご挨拶	3
国際ロータリー第 2660 地区 2022-23 年度 米山奨学委員会委員長 ご挨拶	4
関西米山学友会 会長挨拶「Yoneyama Harmony～新しい未来への調和～」	5
米山奨学生王采蓁さんのカウンセラーを終えて	6
米山梅吉記念館・日帰り旅行の感想	7
2022 年度奨学生オリエンテーション	8
米山勉強会	9
米山学友会春の交流会&地区ロータリー学友会春の総会参加の感想	10
世界を一つに	11
関西米山学友会総会	12
米山奨学生レクリエーションに参加した感想	13
米山秋研修会・ハーモニーアート研修隊 in 小豆島	14
2022-2023 年度国際ロータリー 2660 地区地区大会参加感想	15
新規奨学生選考応援の感想	16
終了生への喜びの歓送会	17
『子どもの夢をつなごう～』プロジェクト報告書	18
米山教室・茶道体験参加感想	19
メンター制度・多様な恩返し	20
米山奨学生生活について	21
恩送りのバトン・人生と社会を変える米山奨学金	22
2022 年度米山クリスマス交流会	23
学友近況報告	24
新学友のありがとう言葉	25
会計報告書	26
2022-2023 年度現役奨学生	29

2023 年度会報募集要項

米山学友会学友・奨学生の皆様、本学友会の活動をまとめる会報 1986 年創刊号から 2022 年度 39 号まで、たくさんのご入稿、ご協力ありがとうございます。今後もご引き続き、よろしくお願いいたします。入稿について以下の事項をご確認ください。

原則としてテーマ、内容、文字数、枚数、写真の提供は自由です。ただし、研究レポートのご提出はご遠慮ください。

言語：日本語または英語

原稿締切り：毎年 4 月末日時間厳守でお願いいたします。

送付方法：原稿は PC メールでの入稿をお願いします。

※メールアドレス : yoneyama2660@gmail.com

注意事項：

1. テーマを必ず冒頭にご記入お願いします。
2. テーマの下に、名前・国籍、と現・元世話クラブの順番でお願いします。
(例：大阪花子(日本)、世話クラブ：〇〇 RC)
3. 文章の最初に簡単な自己紹介をお願いいたします。(奨学金の受領年も覚えていれば、記入をお願い致します。)
4. 文章を提出する際、顔写真、活動写真 (JPEG) も一緒にお送りください。

編集チーム

編集：鍾 允順 (学友・世話クラブ：池田くれは RC、2014-2015)

校正：2022-2023 年度役員一同

国際ロータリー第 2660 地区 2022-23 年度 ガバナー ご挨拶



宮里 唯子

国際ロータリー第 2660 地区
2022 - 23 年度
ガバナー
茨木西 RC

当地区、国際ロータリー第 2660 地では地区ビジョンを掲げています。この中で、「私たちロータリアンとローターアクトは、世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。」と謳っており、まさにこの世界の未来を担う若きリーダーが米山記念奨学生修了者を含むロータリー学友の皆様です。

米山奨学金制度ができた当初は、日本に來られた私費留学生を支援し、留学生の母国と日本の国際親善を図るというものでしたが、今や東南アジアはじめ諸外国も豊かになり、必ずしも我々ロータリーの財政援助ばかりを必要としているわけではなさそうです。今や、ロータリーが目指す平和構築、安心で安全な地域社会の実現のために、米山学友の皆様には奉仕のパートナーとしての活躍が期待されています。

我々ロータリーは、これからも奨学金の提供に加えて、楽しく意義有る奉仕プロジェクトに参加する機会を奨学生や

学友に提供し、未来のリーダーを育成することを目指します。学友の皆様には、世界市民であるという自覚をもって、自国や留学先の日本のみならず、幅広く国際社会にも注目してください。また、国際社会や地域社会における成果が持続可能でインパクトのある奉仕活動を提唱、あるいはロータリーの奉仕活動に積極的に参加下さい。

ロシアによるウクライナ侵攻、国土の 1/3 が水没したパキスタンの洪水、未曾有の犠牲者を出したトルコ・シリア大地震、そして日本国内では若者の自殺があとを絶ちません。世界は今、私たちの想像を超えた人道危機に直面しています。海外に九つもの学友会のネットワークをもつ皆様には、多様な価値観を備え持った未来のリーダーとして、果敢に積極的に奉仕活動の提唱や参画を期待しております。

末尾になりましたが、貴学友会の益々の発展、学友皆様のさらなるご活躍を祈念申し上げます。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長 ご挨拶

この原稿を書いている現在、日本はWBC（World Baseball Classic）優勝に興奮冷めやらぬ状況で、野球大好きな私も日本を応援してきたので感謝の余韻に浸っています。

出場国の奨学生・学友の皆様も自国の応援に熱が入ったのではないのでしょうか。

熱戦が繰り広げられる中で特に心に残ったのは日本 vs チェコでした。職業を持ちながらの兼業選手もいるという異色のチームでしたが、対戦者同士のリスペクトが強く感じられる好ゲームで、選手の紳士的な振る舞いや試合後の絆にも感銘を受けました。互いにリスペクト出来るのが当事者だけでなく見ている者にも心地よくさせる良い見本でありました。

ゲームだけでなく応援も国際色豊かで、それぞれのお国柄を感じたり、対戦国に親しみを感じたりして野球を通しての国際理解も深まったのではと感じました。米山奨学事業では「国と国の懸け橋」になる人材育成も目的に掲げていますが、それは日本と奨学生・学友の母国

だけとは限りません。皆様のアイデンティティを活かし、ロータリーで学んだ奉仕の精神の基、他者へのリスペクトを持って、広い世界を繋ぐ懸け橋になって下さることを期待しております。

今夏には漸くコロナ規制から解放され、4年ぶりに米山学友会の世界大会「再会 in 関東」が開催されます。コロナ禍でもオンラインを使い工夫され、臨機応変に対応しながらの学友会運営には感心致しました。けれどネット社会での繋がりには限界があり、つながりの深度は対面より浅く表面的にならざるを得ないと感じています。文字通り「再会」することは素晴らしく、絆を深める絶好の機会だと思います。米山学友会関西も多くの参加者を募り参加される予定と伺っています。いつも活発に活動しておられるだけに「再会 in 関東」でもリーダー的存在感を発揮され、盛会へと導いて下さることと楽しみにしています。

最後になりましたが、日頃の米山奨学事業へのご協力に感謝申し上げますと共に、米山奨学生学友会関西の益々の発展と、頼会長はじめメンバーの皆様のご活躍をお祈りしております。



若林 紀男

公益財団法人ロータリー
米山記念奨学会
理事長
大阪東 RC

国際ロータリー第 2660 地区 2022-23 年度 米山奨学委員会委員長 ご挨拶



坂田 妙子

国際ロータリー第 2660 地区
2022 - 23 年度
米山奨学委員会委員長
池田くれは RC

平素より米山奨学事業に多大なるご理解とご協力をいただき、また、いつも心温かい眼差しで本事業を見守っていただき本当にありがとうございます。まずは、心からの御礼を申し上げます。

日々、米山奨学生たちの成長ぶりには驚かされるばかりです。彼らが、大きく成長し、学友会や、それぞれの分野で活躍できるのも、成長を支え、導いてくださる米山学友会の皆さまのおかげであることを常日ごろから感謝の念と共に実感しております。

米山学友会関西のチームワークは、仲間同士の絆が強く、ひとりひとりの皆さまの力強いパワーは底知れないものです。日本の未来を変えることができる存在といっても過言ではありません。特に、米山学友会のメンター制度は本当に素晴らしく、他の奨学事業にはない心の通った独自のサポート制度であることは既に皆様ご存知の通りです。わたくしは、この数年の間、米山学友会のサポートのおかげで米山の心の輪が一つになり、その輪が益々大きな輪へと広がっていく様子を何度も目にまいりました。そうした経験を重ね、身をもってメンター制度の素晴らしさを感じ、理解を深めることができました。

メンター制度では、かつての米山奨学生がメンターの役割を担ってくださるので、奨学生にとっては、母国を離れ、他国で暮らし、学ぼうと、自分たちのお兄さん、お姉さんの存在、家族のような存在、さらには自らの未来像として目標にできる憧れの先輩方の存在は大変心強く、その存在のおかげで、不安は安心感へと変わり、それぞれの個性や能力を存分に伸ばしていけるのだと思います。

親、子、そして孫の代へと、奉仕の心を引き継ぐこの米山事業は、「社会への恩送り」の心を大切に育てる事業ともいえ、次世代に繋がる無限の可能性を秘めています。奨学生たちは、学友会の皆様や、職業人の宝庫であるロータリアンの方々をはじめ、この事業に携わる皆さまから、「恩送りの心」をしっかりと受け継いで成長しております。

今年度の米山事業においては、常に『新しい風を吹かしていきましょう』と語りかけてきました。新しい風とは、何もかもを一新しようという意味ではなく、伝統や古き良いものは尊重し、ひとりひとりが様々な価値観で意見を交換しやすい環境、多様性が受け入れられる風通しの良い環境を作ることの意味です。是非、今後とも皆様には、この素晴らしい事業に、さらなる新たな風を吹かしていただきたいと願っております。

関西米山学友会 会長挨拶

「Yoneyama Harmony ～新しい未来への調和～」



頼 育萱

台湾
米山奨学生学友会（関西） 会長
やまと西和 RC(旧王寺 RC)
2006.4-2007.3

この会報を読んでいたいている皆さん、こんにちは。日頃は関西米山学友会の活動に対してご理解、ご参加していただきまして大変ありがとうございます。昨年会長に就任させていただきました頼 育萱(ライイクセン)と申します。この会長職を務めることは私にとって大変光栄なことですが、同時に沢山の優秀な学友たちをリードして活動するというプレッシャーを感じています。しかし、役員の皆さんのご協力を得て楽しく全力を尽くす決意をしました。

今年度の活動テーマは「YONEYAMA HARMONY ～新しい未来への調和～」と発表させていただきました。ハーモニーとは音楽に限らず、あらゆることの調和、共鳴、共感、一致、連結、和合という意味があります。コロナ禍、自然災害、国際紛争もあつて、世界はこれからもっと環境自然と調和して、国際社会と和合していかなければなりません。そして、関西米山学友会においては、多くのロータリー関係の方々に関西米山学友会の活動に共鳴して頂き、これからも米山精神をより良い次世代に循環していくため

に、活動を通じてロータリアンと現役奨学生、母国と日本そして世界を YONEYAMA HARMONY の力で調和していきたいと考えます。

関西米山学友会は主に「学友の親睦」、「社会奉仕」、「奨学生をサポートする」という3つの柱に基づいて年間様々な行事を企画し、開催しています。

まず、「学友親睦」において、一昨年までは環境変化によって対面式の活動を制限されている中、学友同士のイベントの開催はあまり出来なかった状態でした。しかし、コロナ比較的に落ち着いてきた昨年度では、総会、秋の懇親会及びクリスマス交流会を全て対面式での開催することができました。皆さんが待ちに待ったイベントで、企画していたよりも多くのロータリー関係の方々にご参加していただきました。やはり同じ空間と時間を共有しながら、お互いに笑顔で話し合えるのは幸せなことだと改めて感じる事ができました。今年はさらに学友同士の交流機会を作って、活動学友をより増やしていきたいと思いをします。

次に、「社会奉仕」について、関西米山学友会は2018年から「米山教室」を定期的に運営しております。講師は全員ボランティアで、主に学友たちがそれぞれの専門性と才能を生かして楽しい時間を分かち合う教室となっています。参加費の収益金はすべて次世代の子供の教育機関に寄付する予定です。昨年10月に2年半ぶりに再開させていただきました。今年はより多くの方々に気軽にご参加できるように、テコンドー体験、料理教室、茶道体験、ギター体験レッスン、韓国語レッスンなど様々な体験型の教室を開催しました。米山教室では知識と異文化を学ぶだけでなく、ロータリー関係の参加者がより一層絆を深める場所でもあります。これからの教室は皆さんのご意見を収集しながら継続的に運営していきますので、皆さまのご参加をお待ちしております。具体的な内容に関しては随時米山教室FBを更新していきますので、ぜひ確認をお願いします。

三つ目は皆さんご存知のように、関西米山学友会は4年前に現役奨学生を対象とした「メンター制度」を立ち上げました。私たち学友メンターがいることで、新規奨学生にとって帰属感を感じさせ、安心してロータリーで活動してもらうためです。地区米山奨学委員会と連携して、年間行事の選考会から終了式まで常に私たちメンターが、委員会の皆様と一緒に現役奨学生により良い現役期間のロータリー活動をサポートしました。楽しい学友の姿を見て、現役終了後も積極的に学友の活動に参加していただけることを目指しています。一石二鳥の制度です。

私たち関西米山学友会は学友活動を続けやすい環境作りに力を入れています。試行錯誤で様々な工夫をして、企画している活動は奉仕に繋がる有意義なものにするだけでなく、常に楽しい要素を取り入れてきました。つまり、楽しくなければ、また参加したい意欲がなくなるからです。楽しい印象があり、また参加意欲が出れば、ロータリアンたちとの繋がりが続けられることになります。最終的に活動学友として関西米山学友会の活動に参加することで、ご奉仕に繋がるという認識をさせます。

また、他地区から移転してきた学友に対しても積極的に声掛けをしています。当地区出身の学友でしたら、関西ではすでに人間関係の基盤ができています。他地区から移転してきた学友にも私たち学友という仲間がいることを示せば、安心して新生活をスタートできると思います。実際のところ、関西米山学友会の役員は当地区出身と他地区出身が半々くらいになっています。最近、米山会長グループのネットワークを有効利用して、できるだけ他地区からまたは他地区に移転する学友を把握し、どこに行っても学友会の活動に参加できるように環境作りをしています。さらに、一定の期間をまとめて、他地区からの新学友歓迎会も企画しています。

最後になりますが、私たち関西学友会の活動に参加することで、ご奉仕に繋がることになります。ですから、1人でも多くの方々が米山記念奨学事業と関西米山学友会の活動にハーモニーして頂き、積極的に楽しく参加していただければ幸いです。

昨年4月7日米山奨学生オリエンテーションが開催され、初めてのカウンセラーとして米山奨学生の王采葵さんとの出会いだった。ネイティブな日本語ではなかったが、立派に挨拶をされる素晴らしい学生さんという印象。初めてのカウンセラーなので、緊張したがり奨学生も当然緊張していたと思う。



吹田ロータリークラブ忘年家族会 (リーガーロイヤルホテル)

私は、ロータリー歴28年目に入り初めての奨学生のカウンセラーだった。どのように接していいのかわからないままの不安なスタート。しかし責任は重大。今までの長いロータリー生活とは違う世界だった。まず奨学生の大学院での就学が第一、そしてロータリーの諸行事に参加してロータリーの奉仕の精神を理解してもらい、会員との親睦を図ることに心がけた。私の不安もよそに奨学生の王さんは、私たち夫婦と家族の様に接し、私たちは『あなたは、私たちの六番目(私たちに5人の子供がいる)の娘や』と言っている。クラブの会員から阪神甲子園球場の入場券を頂き、妻と三人で野球観戦、「阪神ファンではないけど(私たち夫婦に合わせて)今日だけは阪神ファンになります。」と言ってかき氷を食べながらの観戦、子供のように楽しんでた。試合後は球場の店舗で三人で買い物、台湾のお父さんに野球のボールをプレゼントするということで買い物を楽しんでいた。その後私は地区行事で別行動、妻と王さんは百貨店に行き食事をしたとのことで、妻には、心配事を打ち明けたりして、家族のように溶け合っている。会員からは、「家族みたいやな」と言われてうれしかった。

月を重ねるごとに、毎回の例会での挨拶が段々素晴らしくなっている。内容も素晴らしく、ネイティブな日本語になってきた。コミュニケーション能力はもとより奉仕についての精神も分かってきたようで、クラブの会費の徴収の手伝い、また先日は、大阪北ロータリークラブの創立70周年の式典、パーティーの二日間に亘る行事にも通訳として奉仕するまでになった。

米山奨学生王采葵さんの カウンセラーを終えて

上本 博

カウンセラー
吹田 RC

様々なクラブ行事等(春の家族会、忘年家族会、吹田 RAC への例会参加ーその後入会、我がクラブだけの行事でテーブル仲間の集い、例会開始前の例会場内のスペースの喫茶コーナーでの会員との談笑、例会後の同好会への参加等)にも積極的に参加し、クラブの会員から可愛がられている。また、例会時に来客のようにアテンダンスカードを胸につけるのではなく、会員と同じネームプレートを作ってもらい会員と同じ扱いになっている。

ロータリーへの理解度も素晴らしく、吹田 RAC にも会員として入会し現在も活躍している。卒業後は、日本の企業に就職が決まっており、本人は今後「国際交流をし、ロータリーで学んだことで社会に奉仕し、世界中に貢献したい。」と語ってくれた。10ヶ月前の彼女と今の彼女を合わせ見たとき、米山奨学事業の偉大さをカウンセラーを通して現実に見せて頂いた。

日本には数多くの奨学事業があるが、ロータリーの米山奨学事業こそがグローバルな人材育成、世界との架け橋になれる人材育成の役割を果たしているとの認識を持った。カウンセラーをしたお陰で世界におけるロータリーの真の役割が分かりかけてきた。米山奨学生の制度がなければ、米山の事業に参加させて貰わなければ、またカウンセラーとして関与させて貰わなければ分からなかった世界だった。米山奨学事業をとらえてロータリーと奨学生が太い太い絆で結ばれたことが何物にも代えがたいものとなった。これからの私のロータリー生活に多大な影響を与えてくれた。米山奨学事業は、ロータリーだけでなく、日本の未来を変えて行くと確信した。地区米山奨学委員会、関西米山学友会、奨学生を支えて頂いたメンターの方々、そして米山奨学生・王采葵さんに感謝する次第です。ありがとうございます。



阪神甲子園球場

米山梅吉記念館 - 日帰り旅行の感想

去年の11月19日に、私たちロータリーファミリーの一員として、静岡県にある米山梅吉記念館を訪問しました。米山梅吉記念館は米山梅吉氏の功績を讃え、米山梅吉氏の生い立ちや人生を記録するたの記念館です。米山梅吉記念館訪問日帰り旅行が行われたおかげで、米山梅吉氏とロータリーについてのことがさらに深く理解できました。

記念館の第一展示室で米国、そして日本ロータリーの祖の生い立ちと活躍が公開されています。そして、第二展示室では、日本のロータリー創設者米山梅吉の遺品が展示されています。記念館で色々な話を聞き、時には記念館のスタッフから質問を受けるなど、メンバーを驚かせる場面もあった。スタッフの突然のクイズは雰囲気を盛り上げました。色々勉強に後は、私たち、米山梅吉氏の功績を墓前に追悼した。

私はこの訪問から一番関心を持ったのは日本ロータリーの歴史です。日本初のロータリークラブは、二人の日本人のビジネスマンである福島喜三次氏と米山梅吉氏のアメリカでの出会いから生まれました。東京ロータリークラブは、出会いから数年後の1921年4月1日に設立されました。1935年にロータリーの創設者、ポール・ハリスが日本を訪れた時、クラブの数は増え始めていました。

1940年、政治情勢のせいで非常に遺憾ながら、理事会はロータリークラブを終了し、地区を解散しました。しかし、

日本ではロータリーの精神が強く残り、第二次世界大戦中にも、多くの元ロータリアンがクラブでの集まりを続けました。これが学ぶ価値のある精神だと思えます。

記念館訪問が終了後、うなぎを食べに行き、沼津周辺で歩き回りました。沼津港遊覧船に乗り、富士山を見ながら鳥さんにエビセンをあげ、みんなが満面の笑みを浮かべていることが一番良かったと思います。この一日訪問日帰り旅行を通して、ロータリーについての勉強ができ、友達、他の奨学生とロータリーとの交流もできてすごく良かったです。

日本は平和を愛する国家として推進するという米山梅吉氏の夢は、この奨学金の恩恵を受け、自らの命をかけて親善を促進し続けている100カ国以上からの多くの人々を通して、その実現をますます証明し続けています。ロータリー米山記念奨学金のおかげで、私はより良い自分になったと思います。私もこの世界に貢献できるよう頑張ります！

関 歆燕

マレーシア
大阪うつぼRC
2022.4-2024.3



2022 年度奨学生オリエンテーション

趙 航

中国
宮崎北 RC
2019.4~2021.3



2022 年 4 月 7 日に国際ロータリー第 2660(関西) 地区 2022 年度奨学生オリエンテーションがヴィアール大阪にて行われました。今年度は新規で 13 ヶ国からの 36 名優れた留学生が選抜され、米山ファミリーの一員となりました。継続奨学生 18 名も含め、2022 年度の現役米山奨学生は合計 56 名となっています。

そして第二部の奨学生・カウンセラー合同オリエンテーションでは、奨学生と各自のカウンセラーと相互自己紹介、出会い挨拶・懇談及び例会参加の詳細などについて相談しました。2021-2022 年度関西米山奨学委員長末松先生とガバナー吉川先生からも挨拶をいただきました。その後、米山奨学生学友会 (関西) の関会長はメンター制度について説明して頂いてから、新規奨学生とメンターを担当する米山学友達と顔合わせて、相互自己紹介を行いました。

毎年オリエンテーションの開催は、米山奨学事業が伸びており、米山ファミリーのメンバーが更に増えてきたことを示しています。これから、奨学生達が学友、ロタリアンと共に、社会に貢献の気持ちを持って、世界で活躍することを期待しています。



関西米山学友達も米山奨学事業の一環とし、受付や設営の手伝いなどでオリエンテーションに参加しました。オリエンテーションは約 2 時間の間で行われ、奨学生・カウンセラー個別及び合同オリエンテーションの 2 つのセッションで構成されています。第一部の奨学生オリエンテーションでは、関西米山奨学委員会委員長長坂田先生がロータリー及び米山奨学事業の歴史を紹介していただき、奨学生達にこれからロータリーファミリーの一員として社会に貢献するようとの気持ちを感じてもらいました。



米山勉強会



BUI, CUONG THINH

ベトナム
池田 RC
2021.4-2022.9

関西米山学友会の活動がたくさんあり、そのなかで、米山勉強会という活動も行われております。それが何かとういうと、米山奨学生のOB、OG（関西米山学友会）が新奨学生の皆に一度米山奨学金について話をするという場です。そこで、これから奨学生として意識しながら、過ごしていくための詳しい説明をし、困りがある時に、どこで、誰に相談に乗ってもらいかもすべての話をしております。また、それだけではなく、学生と学生、また学生とOB、OGの皆と気軽に交流することもできちゃいます。説明、注意事項を聞かせて頂いた後に、それぞれチーム分けて、発表会をみんなで行っております。そこで、あるテーマについて自分と初対面の5、6人が一つのチームになり、意見を交換し合いながら、役割分担をして、チームワークを行いました。そこか

ら、それぞれのチームの代表、またはチーム皆で全員の前で出されたテーマに対して自分たちのチームの提案を発表しました。

勉強会で教えて頂いた内容で、新奨学生たちが安心してありながら、奨学生として過ごすことができるようになりますので、有意義な活動だと思われております。また、米山ロータリー奨学金の行事で関西米山学友会の先輩たちとの集まりは年に何回もありますが、このような全員が揃って、ゆっくりで、交流する機会が本当に貴重だと思っております。今後も勉強会の手伝いを続けて参加するように頑張っていきたいと考えております。皆さんもぜひご参加ください。



米山学友会春の交流会&地区ロータリー学友会 春の総会参加の感想



2021年度の奨学生である私にとって、「春の交流会」は私がはじめて学友として参加したイベントでした。会場に到達した時、アットホームな雰囲気に驚きました。最初の昼食タイムで知り合いがいなかったため、自分が何をしたらいいのかはわからなくて少し不安でしたが、突然に今の親友の汪さんと出会いました。彼女も一人できたらしくて一人で講演を待っているうちに、私が彼女に話をかけました。いっぱい話ができて楽しい時間を過ごしました。その後、他の学友の方々とともに歓談して、学友の皆様の素晴らしさに感心しました。

午後の講演会で、矢尾先生が「医食同源」をテーマとし、漢方薬と食べ物との関係について大変貴重なお話をしました。普段の食べ物である植物はこういう効果があるのかを感心しながら、私が今後より良い体を得るために食生活にも力を入れることにすると思いました。

今回の交流会をきっかけに、私たち3月終了したばかりの新入学友と他の学友の交流が深めました。今まで出会えていない人々と出会い、今までたまった話を皆と話し合い、暖かい雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました。私は素敵な先輩たちの背中を仰ぎ、いい刺激をいただきました。また、米山でつながる絆の深さのすごさも感じました。

李 玥璇

中国
守口イブニング RC
2021.4-2022.3



世界を一つに (音楽祭)

2022年6月12日、米山奨学生と米山学友が池田くればロータリークラブが行なったレクイエム音楽祭に参加し、一同は素晴らしい時間を過ごしました。この音楽祭の開催目的は、新型コロナウイルスにより尊い命を失った方々に対する慰霊と、献身的にこの危機に立ち向かっている方々への感謝を表明するためでした。テーマは「世界が一つになる」というもので、人々が困難を共有し、乗り越える力を持つことを強調していました。

ネパールの伝統的なダンスと音楽を披露することで、その美しい文化を祭りの参加者たちに紹介することができました。泉先生と坂田先生が熱心にこのプロジェクトに協力し、参加者たちをサポートし、パフォーマンスの成功に貢献してくださりました。ラム先生(ネパール人)には、ロータリークラブとは関わりがなくても、ダンスの振り付けを教えていただき、全員が一体となって踊ることができました。

ラム先生がバスリ(ネパールの楽器)を吹き、泉先生がドラムを演奏するなど、会場を魅了する演奏が行われました。これらの演奏はネパールの音楽に欠かせない要素を加え、観客の心に響く美しい旋律を奏でました。

この音楽祭は、参加者たちにとって貴重な経験となりました。皆が積極的に関わり、充実した演奏ができたことは、大変喜ばしいことでした。お互いに助け合い、協力して取り組むことで、ネパールの伝統文化を広めることができました。

また、観客にもネパールの魅力を伝えることができました。音楽祭はコロナ禍により尊い命を失われた方々に対する慰霊と、献身的に携わっている方々への感謝を表明する場であり、同時に「世界が一つになる」というテーマを通じて、人々が困難を共有し、乗り越える力を持つことを強調するものでした。この貴重な経験を通じて、私たちは自分たちの役割を再認識し、未来への希望を新たにすることができました。

SHRESTHA, SUMAN

ネパール
大阪西北 RC
2020.4-2022.3





関西米山学友会 総会

頼 育萱

台湾
米山奨学生学友会(関西) 会長
やまと西和 RC(旧王寺 RC)
2006.4-2007.3



2022年7月3日関西米山学友会の総会及び新規奨学生の歓迎会を行いました。当日は良い天気に恵まれ総勢203名のロータリー、学友、現役奨学生、そしてご家族の方々に参加して頂きました。当日のプログラムは第一部総会と第二部歓迎会の2部で構成されました。まず、関直前会長による

「3年ぶりの開催に胸が躍ります」との開会のご挨拶で始まり、続いてご来賓の紹介を行いました。公益財団法人米山記念奨学会の若林理事長をはじめ、宮里ガバナー、地区奨学会坂田委員長のご祝辞を頂き、恒例の学友による多様な余興で3年ぶりに完全復活なオフライン総会&歓迎会を盛大に挙げることができました。

第一部の総会司会を務めて頂いたのは新役員の子中国出身の梅星さんと新規奨学生の韓国出身の申ドンヒさんコンビでした。お二人の堂々とした司会進行の腕前は初めてと思わせないくらい上手でした。関直前会長の前年度年間活動報告を通して、関会長の行動の速さと課題への対応能力の高さを改めて感じました。そして議決事項で私は新会長として任命されました。新年度の活動テーマ「YONEYAMA HARMONY～新しい未来への調和～」と役員メンバー紹介、年間活動計画、予算報告などを発表させていただきました。新会長挨拶で舞台上上がった瞬間、頭が真っ白になり、原稿用紙を握り締めた手と声が震えていました。しかし、いつも一緒にいる役員たちと坂田委員長が聞きながら頷いてくれる笑顔を見てとても心強かったです。その後、世界大会PRとニコニコ報告を経て、最後に感謝の時間を設けました。花束贈呈に若林理事長の就任をお祝いしました。また、いつも米山ファンとして応援してくださっている末松直

前委員長と関直前会長の退任に感謝の気持ちを込めて花束と目録贈呈をさせて頂きました。

続いて始まった第二部の新規奨学生の歓迎会では新役員の子中国出身の趙航さんとベトナム出身のポーヌチュオー・ジャンさんの司会挨拶から始まりました。お二人の民族衣装での登場で一気に会場の雰囲気ワクワク明るくしてくれました。坂田委員長の祝辞と(公財)ロータリー米山記念奨学会理事学務委員長山本パストガバナーの挨拶と乾杯のご発声を頂きにぎやかにスタートしました。米山大使のインタビュー、ウクライナ募金時間を設けて、主人公である奨学生の歓迎及び紹介をメンターグループごとで行いました。さらに余興にて数十名の学友とロータリアンたちが民族衣装で音楽の演奏・歌・踊りを披露してクライマックスを迎えました。最後に公益財団法人米山記念奨学会評議員松本パストガバナーの講評をいただき幕を閉じました。

今回の総会及び新規奨学生歓迎会で人と人の繋がりの大切さを改めて感じさせて頂き、癒しと楽しい交流の時間を皆さんと共有することができました。今後とも私たちの活動テーマである「YONEYAMA HARMONY～新しい未来への調和～」に共鳴して頂き、応援の程よろしくお願い致します。





国際ロータリー第 2660 地区 米山奨学生レクリエーションに参加した感想

2022年9月18日、地区米山奨学委員会主催の「米山奨学生レクリエーション」2年ぶりに開催されました。コロナの影響により、オンライン上のコミュニケーションとイベントが続きましたが、オフラインのイベント開催はとてもフレッシュな気分でした。当日はロータリアン、奨学生と米山学友・学友の家族を含め約140名のロータリーファミリーが来場され、暖かい懇親会と観劇の時間をともに過ごすことができました。

今回の懇親会において、とても盛り上がったのは奨学生の近況報告の部分です。メンターグループごとに登壇し、奨学生は簡単な自己紹介と「世話クラブとの繋がり」を発表してもらいました。世話クラブそして、カウンセラーさんとの忘れられない思い出、世話クラブで学んだことはどのように今後のキャリアに生かす等、感謝と感動をこもった貴重な話を聞かせていただきました。

そして、この機会を通してロータリー、奨学生と米山学友との理解を深め、より一層絆を深めたと思います。このイベントを通して、今後奨学金の受給期間が終了したとしても、引き続き米山の活動に積極的参加する学友になるのを期待しています。

この場を提供していただいたガバナー事務所の皆さん、奨学生、学友の皆さん、関係者様に深く御礼を申し上げます。有難うございました。暖かい懇親会と日本文化を満喫したレクリエーションでした。ロータリーファミリーとの絆を大切に今後の活動を進めて参ります。

★当日の宝塚歌劇：「～HiGH & LOW THE PREQUEL～ Capricciosa」-心のままに-★

王 浩悦

中国
京都洛南 RC
2016.4-20017.3





米山秋研修会 - ハーモニーアート研修隊 in 小豆島

張 昇勲

韓国
高知北 RC
2017.4-2018.3



米山学友の秋の研修で11月12日~13日までの1泊2日間、小豆島に行って研修して帰ってきました。実は今回の研修はコロナ禍で3年ぶりに再開した研修なので、皆さんわくわくしながら研修期待になりましたし、いつも行ける京都、奈良、兵庫とは違って船に乗って行かなければならない珍しい小豆島という初めて聞く島へ研修に行ってきたのでこの秋の研修はもっと特別に感じました。

今回の研修への参加はロータリー学友と奨学生、そして学友の家族を含めて計00人が小豆島秋の研修に参加しました。出発した初日、天気はとても良かったです！小豆島に向かうために私たちは大阪梅田からバスを2時間ほど乗って、また船で1時間ほど乗って移動しました。船の窓から眺める海と空は素敵で心をすっきりさせてくれていて、遠く見えた小豆島がだんだん近づき始めました。

小豆島に着いてまず初めて、寒霞溪山頂に行きました。

研修の時期が良かったので、山頂から素晴らしい絶景の観光ができました。頂山から見下ろす小豆島は町と海が一望できる素晴らしい絶景地でした。

また山頂山からケーブルで降りてきて秋の季節を見事に鑑賞することもでき良かったです。

二番目に小豆島の名物であるオリーブを見られるオリーブ公園に行って見物したり、近くにあるキリシヤ風車の前でほうきで運ぶような演出をしながら素敵な写真も撮りました。

風車の前で運ぶような写真を撮ってみるのは本当に楽しかったです！

午後の最後はエンジェルロードと呼ばれる‘海から道が表れていて島まで歩けるところ’に行ったのですが、早い時間に到着したので写真のように海から道が現れなかったのですが、時間が経つにつれて少しずつ陸道が見えてくるそうです！エンジェルロードは今度もう一度必ず見に行きたいと思いました。

夕方に宿所に着いて夜ご飯を食べながらビンゴゲームをしました、みんな景品がもらえたので面白かったです！そして食後、お風呂と寝る準備をしながら映画見たりゲームしたり楽しく一日を終えました。

翌日は香川県の名物「うどん作り」見学もして、醤油工場に行って醤油見学もできました。

2日目は朝早くから宿所の前で集合してみんなで体操をしながら一日を始めました。雨は降っていま

したが、うどん製造見学と醤油製造見学に行きました。醤油工場では料理する時に使われる醤油の製造工程を見学しましたが、たくさんの醤油の味身もして醤油の種類に勉強もでき楽しかったです。またうどん見学をしながら自分で直接麺を作ってみる経験は面白かったです！

午後は、バスに乗って行った「二十四の瞳映画村」は、有名な映画撮影セットを利用したレトロな雰囲気が漂う美しいテーマパークでした。

昔のままにしておいた学校の教室や教務室も見られましたが、日本の昔の空間を見ることができて良かったです！

一日を終えて大阪に帰るバスの中ではスケッチブックで描いたグループ課題の発表で盛り上がりました。グループごとにみんな素敵な絵を紹介していますが、一人一人上手に描いているのを見て「みんな描くのが上手だな～」と思いました！今回、小豆島という素敵な場所で短い研修を1泊2日間過ごしましたが、短い間でたくさんの経験ができて良かったです！小豆島研修計画を立てていただいたことと楽しい時間を過ごさせていたことに感謝いたします。ありがとうございました！



2022-2023 年度国際ロータリー 2660 地区 地区大会参加感想

2022年12月17日に大阪国際会議場で開催されたロータリー 2660 地区の地区大会に参加させていただきました。

コロナの影響で2年間はオンライン開催され、今回は3年ぶりの対面開催となりました。3年ぶりに多くの学友や青少年団体の方々とお会いできて、やはり対面のほうが良いと感じました。今回の地区大会は通常とは異なり、「友愛の広場」というロータリー地区大会のメインイベントの一部が初めてロータリアンではなく、ロータリーファミリーである学友会が主催で行われました。地区ロータリー学友会を中心に、各ロータリーの青少年団体が協力しながら盛大に開催することができました。「友愛の広場」では、「楽しく奉仕を学ぶ」をコンセプトに、「ポリオ根絶」「献血」「平和構築と紛争予防」を学ぶメインブスのほか、米山記念奨学生やローターアクト、インターアクト、RYLAなどの青少年団体紹介ブース、VRゴーグルを使ったロータリープログラムの体験ブースなどが設置されました。米山学

友会では、「米山記念奨学生」ブースとVRゴーグル体験ブースを担当し、ご来場のロータリアンや他の青少年団体の方々に米山記念奨学生事業の紹介や、ロータリープログラムのVR体験を紹介しました。今回の友愛の広場には、特別ゲストとしてウクライナからの学生さんも参加されました。米山チームは多国籍の利点を生かし、通訳としてウクライナからの学生さんたちを連れて会場案内やロータリー事業の紹介を行い、米山の力を十分に発揮できたと思います。本会議では、吉村大阪府知事の挨拶と宮田裕章教授による「Better Co-Being ～調和のある未来を目指して～」というテーマの講演を聞くことができました。参加者紹介の際には、米山学友会の皆さんが呼ばれて、活気に満ちた返答で再度会場を盛り上げることができました。今回の大会を通じて、再度人と人が対面してお話しすることの大切さや、お互いに協力し合って一つのことを完成させる楽しさ、そして世界平和の重要性を改めて感じることができました。非常に有意義な大会でした。

單 雅婷

台湾
四条畷 RC
2012.4-2013.3



新規奨学生選考応援の感想

梅 星

中国
大阪城東 RC
2019.4-2020.3



1/21(土)、私は米山学友会(関西)の役員として、初めて関西米山学友会の主な活動の一つ、2023年4月採用の新規米山奨学生の面接選考の応援活動に参加しました。

去年の経験を重ねて、選考日の当日、私の緊張感は前回よりだいぶマンになりました。今回もコロナ禍の中での開催となりましたが、主催の地区委員会の方々がすでに様々な感染防止対策の経験があり、スムーズに進行ができました。今年の選考の応援は、私を含めて8名の学友と一緒に参加しました。他の7名の学友同士は場所案内担当と検温担当をしており、私は受付担当でした。今年は米山学友会(関西)の役員に新しいメンバーが増えたので、私も役員の先輩になりました。去年の記憶を思いつつ、今回の選考の応援もトラブルなく終えることができました。

自分自身にとって、新規奨学生選考応援の一番の感想は、来た学生たちの様子を見て、当時自分が奨学生に選ばれた思い出がたくさん溢れて来ることです。その感謝の気持ちで後輩と交流できたことは、本当にやりがいのある奉仕活動だったと思います。

今回の活動を通して、米山奨学会の新規奨学生の選考の過程や、今まで米山地区委員会の方々の努力と苦労を理解することができました。また、学友会の中に新しい友達にも出会い、とても嬉しく思います。そして各イベントで役員の方々が果たした重要な役割についても学びました。今後ともロータリー米山奨学会の活動を積極的に参加し、自分の力を貢献できるように頑張りたいと思います。



終了生への喜びの歓送会

2023年2月25日、雪が溶け、草花が芽吹き、新緑が広がり、米山奨学会2660地区の奨学生修了式が行われた。関西米山奨学会委員会と学友会が力を合わせて、カウンセラーと奨学生たちに思い出に残った楽しい式だと私は感じられた。そして委員会と学友会の皆さんは仕事があるにも関わらず、遅くまでの打ち合わせを重ねて事前準備とリハーサルがあった上での終了式である。奨学生たちとともに感動と感謝を胸にいっぱいの修了式であった。私にとって忘れられない素晴らしい体験だった。

式典の冒頭では、宮里ガバナーからは「奨学生たちは、自分たちの力で自らの夢を追い求めることができる、そんな力を手に入れたことでしょう。これからの人生で、それぞれが自分自身を信じ、夢を叶えるために努力し続けてほしい。」という励ましのメッセージが送られた。坂田委員長からは、「奨学生たちは、卓越した才能を持ち、自己実現のために尽力している。今後も常に目標を高く持ち、素晴らしい成果を生み出してほしい。」というエールが贈られた。この貴重なメッセージは、奨学生たちの人生において新しい一歩を踏み出す上できつと大きな支えになる私は思っている。

その後、奨学生代表のチャワナットさんからは、関西米山奨学会の委員会と学友会に対して感謝の気持ちを含む発言があった。「私たちは、多くの人々の支えがあったからこそ、ここまでやってこれることができました。本当にありがとうございました。今後、自分たちの成長に繋がるように、こ

の経験を大切にしたいと思います。」という言葉には、会場中から感動の拍手が沸き起こった。チャワナットさんの発言には、奨学生としての感謝だけでなく、これからの目標や夢への取り組み姿勢にも大きなエネルギーが込められていた。

そして、授与式後の宴会場で懇親会が開催された。懇親会では、奨学生たちと世話人やカウンセラー方との歓談が行われた。奨学生たちは、この奨学会を通じて出会った仲間や先輩方と交流し、たくさんのエピソードを共有した。また、世話人やカウンセラー方からは、今後の人生に向けてのアドバイスやエールが贈られた。様々な話題が飛び交い、会場は笑い声と歓声で満ちあふれていた。宴会場で特に、魏寧さんからの感謝の挨拶が行われた。魏寧さんは、最後まで奨学会の支援に感謝し、将来的には地域や社会に貢献することを約束した。彼女の強い意志と誇り高い姿勢に、場内は感動に包まれた。彼女の言葉には、強い決意と責任感が感じられ、自信を持って夢に向かって挑戦することができた。

関西米山奨学会の委員会や学友会をはじめ、たくさんの方々から日々の暖かいご支援と応援のおかげである。米山奨学会の活動は、多くの若者たちに夢や希望を与え、社会の発展にも大きく貢献している。今回の修了式に参加したことで、私たちも奨学生たちの夢や挑戦に共感し、その大切さを再認識することができた。今後も、私たち学友は米山奨学会の活動をサポートし、若者たちが自信を持って夢に向かって歩き続けることを応援していきたいと思う。

王 梓

中国
大阪西南 RC
2021.4-2022.3



『子どもの夢をつなごう～』プロジェクト報告書

何 玉翠(Ho Yutsui)

2650 地区奈良 RC
2013～2015 年度
関西米山学友会会長



コロナ疫情蔓延で活動が自粛のため、現地ベトナム学友の協力で無事にランドセルが子どもたちの手に届きました。池田くれば RC が預かった小学生たちのランドセルがドンナイ省日越友好協会経由 Thanh Tam 協会、Thong Nhat 町各施設のこどもの手にやっとお届けすることができました。また、関西米山学友からの寄付金と文房具も一緒にベトナムの子どもにお渡しして夢をつなぐことができました。

ドンナイ省人民委員会の規定に従って、プロジェクトの実施にドンナイ省連合友好委員会及び越日友好協会のご協力、また最初からご支援してくれた池田くればロータリクラブ、そして『こどもの夢をつなごう』プロジェクトに参加してくれた学友の皆さまに感謝！

本当にありがとうございました



米山教室 - 茶道体験参加感想

ロータリー米山奨学生学友会（関西）
のダシャ（達夏）と申します。

この度、米山教室の先輩たちよりお誘いをいただき、茶道の魅力を深く感じました。全くの初心者ですが、素敵な和室の中で、作法・所作・道具など先生から、その知識と技を学び始めると、非日常な世界は日常生活にも密接に関わってくるという点に茶道の面白さを実感しております。

ロータリー米山記念奨学会の先輩、後輩と集まり、癒され笑顔が溢れる皆さん、希望と元気を与えて下さり有難うございました。感謝と御礼の気持ちで一杯です！良き先生、良き仲間恵まれ、

大変楽しく心に残る一日となりました！茶道は日本の伝統文化であり、礼儀作法の集大成という側面もあります。長い歴史を持ち、マナーが厳しいことでも知られており、未だ未だ「茶道」の奥深さ、味わい深さ、広さ、親しみやすさなどに気づき始めた段階ではありますが、今後も「茶道」を自分に出来る範囲で学び続け、学んだことを日々の生活の中で実践していくことに心がけてまいりたいと思います。誠に残念ですが、別の御用事があったため、途中でご退席してしまい、最後までご参加できませんでした。今後のイベントにも積極的にご参加したいと思っております。末筆ながら、ご尽力・ご配慮・ご鞭撻賜った全ての方々へ心より感謝申し上げます。

DAXIA(ダシャ/達夏)

平田 RC
2016年4月 - 2018年3月



メンター制度 - 多様な恩返し

「摂津ロータリークラブで2年間お世話になりました、ボーヌチュオージャンと申します。2021年に奨学生期間を終了し、現在は米山学友会の役員・奨学生メンターの一人として活動しております。

VO NU TRUONG GIANG

ベトナム
摂津 RC
2019.4-2021.3



今回は奨学生メンター制度についてお話しします。奨学生メンター制度とは、奨学生期間を終了してから、米山学友会の役員として新・現役奨学生のお世話をする役割です。各ロータリークラブにはカウンターがいらっしゃいますが、メンターはサポート役としてロータリーアンと奨学生との関係を深める一つの役割です。

具体的には、新・現役奨学生に対して、米山奨学生制度の内容や例会への参加し方やロータリーアンの方々との接し方を教えてあげることです。また、新・現役奨学生が悩んでいることや困っていることに対して相談に乗ってあげることです。メンターメンバーたちとはLINEグループを作成し、コミュニケーションの場を設けています。時々、メンバーから相談が寄せられています。「こういうことで悩んでいます、ど

うしたらいいですか？」とか「イベントではどのような服装で行ったらいいですか?」、「何かトラブルが起こった場合、どう対処したらいいですか?」などです。質問に即答できる場合は、すぐに回答しています。もし確認が必要な場合は、米山学友会の役員長に問い合わせ、メンターメンバーに回答するようにしています。メンターメンバーたちは私たちを兄弟のように慕ってくれて、色々な話をしてくれます。

私自身も奨学生だった頃、摂津ロータリークラブのカウンター（中井先生）やロータリーアンの皆様には多大な恩恵を受けました。奨学金だけでなく、例会や交流会などで多くの経験をさせていただきました。現在の奨学生メンターとして、新・現役奨学生に役立てることができると、とても嬉しく感じています。

奨学生期間が終了しても、米山学友会の役員として、お世話になったロータリークラブに少しお力になれて、とてもうれしく思っています。これから、役員・メンターとして米山学友会にお役に立てるように楽しく活動していきたいです。」



米山奨学生生活について

皆さん、初めまして。韓国出身の申東熹（シン ドンヒ）と申します。私は2022年から米山奨学生で、所属クラブは城東ロータリークラブです。今回は皆さんに私の奨学生生活について紹介したいと思います。

今回はカウンセラーさん、所属クラブ、米山学友会という3つに分けて紹介したいと思います。まず、カウンセラーさんについてです。カウンセラーさんは、クラブのこと以外にも何でも相談に乗ってくれます。日本で留学している中でやってみたいことや不安に思うことがあれば、カウンセラーさんがサポート、アドバイスしてくれます。カウンセラーさんがいることで、留学中の不安はかなり軽減されました。特に印象に残っているのは、個人的に日本での裁判傍聴に興味があったため、弁護士であるカウンセラーさんに相談し、一緒に裁判傍聴に行ったことです。難しい裁判の内容を分かりやすく説明してくださり、とても勉強になった経験でした。

次は所属クラブについて紹介します。私が所属している城東ロータリークラブでは様々な事業が行われます。お花見会やプールサイドパーティー、クリスマスパーティーなど今までたくさんの経験をさせていただきました。直近では、大阪

城公園内で行われた記念事業贈呈式があります。私は簡単な手伝いをしただけですが、人々が喜んでいる姿を見て、やりがいを感じました。また、このように社会貢献活動を行う自分のクラブを誇りに思いました。機会があれば、大阪城公園内で城東ロータリークラブが寄贈したベンチを探してみてください！

最後は米山学友会についてです。学友会は、元米山奨学生と現役奨学生で構成されています。国籍も年齢も文化も違いますが、米山奨学生という共通点が私たちを結んでくれます。学友会が現役奨学生をサポートする姿を見て、自分のそうなりたいと思うことがあります。学友会では文化教室やボランティア活動など様々なイベントを開催しています。特に私は以前、池田くればロータリークラブが主催する音楽祭に参加したことが最も印象に残ってます。

以上が、この1年間の私の経験でした。この経験を通じて感じたことを一言で言うと、「頼れる仲間がいる」ということです。嬉しいときも悲しいときも、そばに誰かがいるという信頼感のおかげで、私の留学生活はより豊かになりました。これからもたくさんの思い出を作りたいと思います。ありがとうございました。

申 東熹

韓国
大阪城東東 RC
2022.4 - 2024.3



恩送りのバトン - 人生と社会を変える米山奨学金

関口 大樹

台湾米山奨学生
2016- 2017
台湾米山学友会
日本人若手研究者対象奨学金



この一年、おかげさまでたくさんのクラブで卓話の機会を頂戴し本当にありがとうございました。卓話でお伝えさせていただいた米山奨学金制度の大切さや影響力の大きさについてこの場をお借りして綴りたいと思います。

●恩送りのバトン米山奨学金制度

私は台湾の米山学友から「日本人若手研究者対象奨学金」、いわゆる「台湾米山奨学金」を頂いて台湾の大学院に留学した日本人です。台湾や韓国の米山学友が、母国に戻られてから恩返しにと日本人向けに奨学金制度がつくられ、恩送りのバトンが続いています。

●一筋縄にはいかない海外留学

私が台湾に留学したのと同様に、日本全国にも世界各国からの留学生が数十万人単位でいます。ですが、外国人が留学しその国に溶け込み、チャンスをつかむことは容易いことではありません。

夢や目標を持って海外に進学したにも関わらず、言語や文化の壁を越えられずに挫折したり、現地の友達が出来なかったり、社会制度やマナーなどを身につける機会をうまく得られず、描いていた夢と異なった結果になる人は少なくありません。

成功、失敗の定義は自分の価値基準で決めることではありますが、本当にたくさんのハードルを超えなければ海外でチャンスをつかむというのは簡単とは言えないのが実情です。

●大きな力になる米山奨学金制度

米山奨学金制度は金銭的支援に留まりません。留学生たちは異国でも多くの人に支えられているという暖かさと安心感をベースに、交流や挑戦から学び、自然とロータリーの精神を受け継いでいきます。

こうした支えの中で留学生は成長し、チャンスを掴み、多くの米山奨学生が社会で活躍し日本や母国、世界に良い影響を与えています。

ひとりの人生を大きく変え、世界を変えてしまうほど大きな力となる米山奨学金制度。奨学生たち、そして日本にくる外国人のみなさんをこれからも暖かく応援して頂ければ幸いです。

2022 年度米山クリスマス交流会

2022 年 12 月 17 日に「米山クリスマス交流会」が開催されました。奨学生、ロータリアン、学友相互の交流を深めることを図り、関西米山奨学生学友会が毎年「米山クリスマス交流会」を開催しております。

毎年の米山クリスマス交流会はテーマがあり、今年は「思い出のクリスマス」で開催しており、参加者たちは思い出のある帽子、飾り物、民族衣装或いはプレゼントでもらって一度も着たことない服装などで参加しています。お互いに自分の持ってきた思い出をシェアして、話がすぐ盛り上がっている。

オープニングとしては、関西米山学友会の頼会長に開会挨拶をいただきました。関西米山学友会

この一年間での行事を簡単にまとめてロータリアン、学友及び奨学生に感謝の気持ちを伝えました。そして米山奨学委員会の坂田委員長と 2660 地区の山本がバナーのご祝辞から、皆さんの米山に対する期待が伝わってきました。

余興の時、学友と奨学生たちが歌のパフォーマンスをしてくれました。世界中様々の国からの方が多様な歌を通じても母国の文化を皆さんに伝えています。その場で多文化の魅力が感じて、米山ファミリーの一員になって良かったと思っています。

今年度の「米山クリスマス交流会」は、「ロータリー地区大会」当日の夜にスケジュールしているため、当日での参加申し込みが多く、ロータリアン、学友と現役奨学生合計 73 名も参加していただきました。コロナ禍が 3 年間も続いているところ、皆さんが集まって交流でき、少しでも気持ちを明るくできると思います。

皆さんのおかげで、無事にクリスマス交流会を開催できました。短い 2 時間ですが、皆さんの笑顔を見て今回の交流会を企画できて良かったと思っています。

趙 航

中国
宮崎北 RC
2019.4 - 2021.3





学友近況報告

皆さん、こんにちは。私は元 2650 地区米山学友会副会長の張露露でございます。奨学生時代は琵琶湖八幡 RC にお世話になりました。

大学院卒業後、大手法律事務所に就職し、京都から大阪に引っ越したことをきっかけに、関西米山学友会でもたくさんの有意義な活動に参加させていただき、気の合う友人もたくさんできました。

昨年の秋から、キャリアアップのため、20 年以上暮らした関西を離れ、一家が東京に来て、新しい人生アドベンチャーを始めました。

いつになっても、どこにいても、一つ変わらないことは、元米山奨学生として、学生時代に受けた恩恵は心に刻まれ、感謝の気持ちは忘れられないことです。そして学友会で交流会等様々な活動を企画、参加することを通じて、友情の輪が広がり、視座が高められ、たくさんのインスピレーションを与えられるので、この経験は我々奨学生に対して一生の宝物と言っても過言ではないと思っています。

今年 8 月に関東で米山学友世界大会が開かれるので、新しい学友メンバーと出会い、関西学友会の友人たちと再会できるのをとても楽しみにしております。

張 露露

中国
びわ湖八幡 RC
2007.4-2009.3



私は、ロータリー奨学金ファミリーの一員となれたことに心から感謝しています。北梅田のクラブのメンバーと出会い、この組織の一員となつたことで、私は多くのことを学び、人生における成長を助けてもらいました。

MELESSE HAILU,
SAHLEMICHAEL

私は、ロータリー奨学金ファミリーの一員となれたことに心から感謝しています。北梅田のクラブのメンバーと出会い、この組織の一員となつたことで、私は多くのことを学び、人生における成長を助けてもらいました。

MELESSE HAILU,
SAHLEMICHAEL

米山奨学生となつたお陰で、たくさんの優秀な方と出会い、一生忘れられない貴重な経験もでき、非常に充実した一年間を過ごすことができました！

魏 寧

米山奨学生となり、ロータリーファミリーの一員になり、たくさんの人に出会い、色々な経験を積み重ね、一生忘れない一年間を過ごすことができました。ありがとうロータリー。

MYAGMANKHUU,
SAIKHANCHIMEGI

この一年間ロータリーファミリーとの交流は人生の宝ものです。日本を離れたが、ロータリーとの絆をこれからも守りたいです。

CHU THI THUY

新学友のありがとう言葉

一年間沢山の人からお世話になって、皆様と縁を結んで、本当に嬉しいです！

王 玉君

失敗することで、その原因を考えて反省し改善することで、同じ失敗をくり返さないように心がければ、次の成功をもたらす原動力になる

Duong Nhat Linh

この一年は、米山奨学生ならではの体験、学びがたくさんできました。一年間、大変お世話になりました。

劉 博宇

米山のお陰で、研究生生活が彩られました。

魏 明路

生活が充実していると感じた、新しい挑戦がたくさんあった一年でした。

羅 婕今

感謝

NGUYEN THI THUY TRINH

優しいあなたが世界から優しく扱われますように

閻 敬燕

学友会役員になって、役に立ちたい！

Bui Cuong Thinh

もしも誰かがあなたを傷付けてきたら、叫ぶような量の涙を流したって良い。大切なのは、そこに橋をかけて乗り越えることよ

THACH NGOC THUAN

初心忘るべからず

NGUYEN PHUNG THU HANG

皆様のおかげで、様々な経験、勉強を積み重ねながら、日本で楽しく暮らしています！これからもうぞよろしくお願い致します。

申 東圭

母国から日本へ、日本から世界へ

申 東圭

とても楽しく過ごしている特徴だと思います。

チャン、ティ トウ タオ

2年間お世話になりました！いま新社会人として研修を頑張ってます！

蔡 國琳

米山奨学生の時に様々な経験をさせていただいたおかげで、新社会人になつた私は会社に馴染むことができました。感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

蔡 采葉

米山から学んだ、謙虚・誠実である社会人に成長します！

蔡 淳安

たくさん支援をくださった方々のおかげで自分は成長しました。

蔡 真秀

米山は家族のように暖かく迎え頂き誠にありがとうございました

ゲン・ホン ティ ビツク

ロータリー米山は、広い舞台に上がり、夢を追う力を与えてくれます！

李 文義

自分にとっては、米山奨学生になつてから大学よりも学んだことがたくさんありました。

ゲン・アイン ティ ホウエン

米山記念奨学生になって、毎回の例会を通して、自分の視野を広げることができました

陳 君君

ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2022年度会計予算書（案）

自2022年7月 1日

至2023年6月30日

収入の部

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	2,330,792	
特別補助金	300,000	第2660地区活動補助
会報補助金	50,000	米山記念奨学会
総会収入	755,000	
総会補助金	150,000	米山記念奨学会(学友50名x3, 000)
活動収入	380,000	
活動補助金	90,000	米山記念奨学会(学友30名x3, 000)
総計	4,055,792	

支出の部

科 目	金 額	備 考
運営費	80,000	
会報作成費	100,000	
総会費用	905,000	
活動費用	1,020,000	
雑費	10,000	
次年度への繰越金	1,940,792	
総計	4,055,792	

以上ご報告申し上げます。

2022年7月3日

会 計 鄭

詩 穎



ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2021/7～2022/6年度会計決算書

自2021年7月 1日

至2022年6月30日

収入の部

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	2,128,969	
総会収入	30,000	
総会補助金	84,000	米山記念奨学会(28名x3, 000)
交流活動収入	264,000	
交流活動補助金	75,000	米山記念奨学会(25名x3, 000)
特別補助金	338,425	第2660地区活動補助
会報補助金	45,250	38号(1500部)
寄付金	52,300	
利息収入	11	
総計	3,017,955	

支出の部

科 目	金 額	備 考
運営費	26,422	
会報作成費	95,500	
社会奉仕活動費	119,659	
総会費用	143,812	
交流活動費用	283,425	
感謝祭費用	13,200	
雑費	5,145	
次年度への繰越金	2,330,792	
総計	3,017,955	

以上ご報告申し上げます。

2022年7月3日

会計 鄭 詩穎



会計監査報告

会計監査の結果、会計収支決算書は適正と認めます。

会計監査 李 麗俞





八尾 R C

HUARD, MINA MINEA
ALEXANDRA

フランス
大阪国際大学

2022-2023 年度現役奨学生



大阪城東 R C

申 東熹

韓国
関西大学 (吹田市)



大阪西南 R C

申 東主

韓国
立命館大学 (茨木)



大阪リバーサイド R C

WIJITPATIMA,
CHAWANAT

タイ
大阪産業大学



吹田西 R C

ELANGBAM,
NGANTHOIBI

インド
大阪女学院大学



大阪淀川 R C

KHALILIAN, MARZIE

イラン
大阪大学



大阪平野 R C

ONGKO, RICHARD

インドネシア
大阪工業大学



茨木東 R C

HALIM, KARNALLISA
DESMY

インドネシア
関西大学 (吹田市)



大阪西 R C

MUHAMAD ANAS BIN
AZRAEL

マレーシア
関西大学 (吹田市)



大阪城北 R C

HUANG, CHRISTINE
AURELIA

インドネシア
大阪産業大学



大阪うつぼ R C

関 歆燕

マレーシア
大阪産業大学



大阪心斎橋 R C

NGUYEN PHUNG THU
HANG

ベトナム
大阪大学



池田 R C

BUI THINH CUONG

ベトナム
関西大学 (吹田市)



摂津 R C

NGUYEN TRINH THI
THUY

ベトナム
大阪学院大学



東大阪東 R C

DUONG LINH NHAT

ベトナム
大阪女学院大学



大阪ユニバーサルシティ R C

THACH NGOC THUAN

ベトナム
大阪産業大学



香里園 R C

NGUYEN ANH THI
HUYEN

ベトナム
大阪国際大学



くずは R C

NGUYEN HONG THI
BICH

ベトナム
大阪国際大学



大阪城南 R C

TRAN THI THU THAO

ベトナム
大阪産業大学



大阪 R C

陳 彦君

台湾
大阪教育大学



守口 R C

李 艾義

中国
大阪大学



大阪堂島 R C

杜 凱麗

中国
大阪大学



大東 R C

蔡 淳安

台湾
近畿大学 (東大阪)



大阪南 R C

羅 鳳琳

中国
近畿大学 (東大阪)



吹田 R C

王 采蓁

台湾
関西大学 (吹田市)



池田くれは R C

蔡 真彦

中国
大阪大学



豊中南 R C

楊 艾佳

中国
追手門学院大学



豊中千里 R C

PONGAMPAI, KORAPIN

タイ
大阪大学



大阪東 R C

屈 旭斐

中国
関西大学 (吹田市)



大阪咲州 R C

喬 昭

中国
関西大学 (吹田市)



大阪中之島 R C

劉 珮君

台湾
立命館大学 (茨木)



大阪船場 R C

郭 鑫

中国
大阪産業大学



東大阪中央 R C

羅 櫻

中国
近畿大学 (東大阪)



交野 R C

劉 文珍

中国
摂南大学



大阪柏原 R C

胡 曉越

中国
大阪教育大学



高槻東 R C

銭 宝怡

中国
立命館大学 (茨木)



大東中央 R C

ROSSER JONES, LUKE
BENJAMIN

英国
立命館大学 (茨木)



大阪大淀 R C

BOUJLIDA, MOHAMED

チュニジア
大阪大学



千里 R C

ABBADI, HEBA AHMED
ABDELBAQI

エジプト
立命館大学 (茨木)



枚方 R C

CHU THI THUY

ベトナム
大阪産業大学



大阪北梅田 R C

MELESSE HAILU,
SAHELMICHAEL

エチオピア
OCA 大阪デザイン & IT 専門
学校



大阪天王寺 R C

ATWOOD, SARA JEAN

英国
大阪日本語教育センター



豊中 R C

BASTOLA, SUSMITA

ネパール
大阪女学院大学



大阪天満橋 R C

NG, RICHARD WING TO

英国
大阪大学



大阪北 R C

魏 寧

中国
関西大学 (吹田市)



守口イブニング R C

MYAGMANKHUU,
SAIKHANCHIMEG

モンゴル
関西医科大学



大阪大手前 R C

POL, APUYMENG

カンボジア
大阪工業大学



大阪御堂筋本町 R C

劉 博宇

中国
大阪大学



箕面 R C

張 路明

中国
大阪大学



東大阪みどり R C

羅 婕今

中国
大阪大学



大阪中央 R C

王 玉君

中国
大阪大学



東大阪 R C

VI NHU QUYNH

ベトナム
大阪女学院大学



大阪帝塚山 R C

TRAN THANH XUAN THI

ベトナム
大阪成蹊大学



千里メイプル R C

NGUYEN PHUNG KIM

ベトナム
大阪成蹊大学



大阪フレンド R C

PHAM TRAN CHAU

ベトナム
追手門学院大学



大阪東淀ちゃやまち R C

TRAN HIEN THI THU

ベトナム
大阪女学院大学

